

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」の目標達成状況について

資料4

世界最高水準の医療の提供に資する医療分野の研究開発等に関する施策

達成目標	最新数値	進捗
相談・シーズ評価 1,500件	1,376件	A
有望シーズへの創薬支援 200件	117件	B
企業への導出(ライセンスアウト) 5件	162件うち創薬支援ネットワーク:6件	A
創薬ターゲットの同定 10件	33件	A
医療機器の輸出額を倍増(2011年約5千億円→約1兆円)	6.2千億円:2017年	B
5種類以上の革新的医療機器の実用化	複数種類の革新的医療機器を開発中	A
国内医療機器市場規模の拡大 3.2兆円	3.02兆円:2017年	A
医師主導治験届出数 年間40件	36件	A
First in Human (FIH) 試験(企業治験を含む。)年間40件	22件	B
iPS細胞技術を活用して作製した新規治療薬の臨床応用(臨床研究又は治験の開始)	—	A
再生医療等製品の薬事承認数の増加	2品目	A
臨床研究又は治験に移行する対象疾患の拡大 35件	42件	A
再生医療関係の周辺機器・装置の実用化	—	A
iPS細胞技術を応用した医薬品心毒性評価法の国際標準化への提言	達成	A
糖尿病などに関するリスク予測や予防、診断(層別化)や治療、薬剤の選択・最適化等に係るエビデンスの創出	—	A
発がん予測診断、抗がん剤等の治療反応性や副作用の予測診断に係る臨床研究の開始	—	A
認知症・感覚器系領域のゲノム医療に係る臨床研究の開始	—	A
神経・筋難病等の革新的な診断・治療法の開発に係る臨床研究の開始	—	A

達成目標	最新数値	進捗
日本発の革新的ながん治療薬の創出に向けた10種類以上の治験への導出	14種	A
小児がん、難治性がん、希少がん等に関して、未承認薬・適応外薬を含む治療薬の実用化に向けた12種類以上の治験への導出	26種	A
小児がん、希少がん等の治療薬に関して1種類以上の薬事承認・効能追加	0種	A
いわゆるドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消	開発着手ラグ37.5ヶ月:2013年度	N
小児・高齢者のがん、希少がんに対する標準治療の確立(3件以上のガイドラインを作成)	1件	A
認知症の診断・治療効果に資するバイオマーカーの確立(臨床POC取得1件以上)	—	A
日本発の認知症の疾患修飾薬候補の治験開始	—	B
精神疾患の客観的診断法の確立(臨床POC取得4件以上、診療ガイドライン策定5件以上)	臨床POC1件 ガイドライン4件	A
精神疾患の適正な治療法の確立(臨床POC取得3件以上、診療ガイドライン策定5件以上)	臨床POC3件 ガイドライン3件	A
脳全体の神経回路の構造と活動に関するマップの完成	—	A
得られた病原体(インフルエンザ・デング熱・下痢症感染症・薬剤耐性菌)の全ゲノムデータベース等を基に、薬剤ターゲット部位の特定及び新たな迅速診断法等の開発・実用化	—	A
ノロウイルスワクチン及び経鼻インフルエンザワクチンに関する非臨床試験・臨床試験の実施及び薬事承認の申請	—	A
新たなワクチンの開発【2030年まで】	—	A
新たな抗菌薬・抗ウイルス薬等の開発【2030年まで】	—	N
WHO、諸外国と連携したポリオ、麻疹等の感染症の根絶・排除の達成(結核については2050年までの達成目標)【2030年まで】	—	A

達成目標	最新数値	進捗
新規薬剤の薬事承認や既存薬剤の適応拡大を11件以上達成(筋萎縮性側索硬化症(ALS)、遠位型ミオパチーなど)	6件	A
欧米等のデータベースと連携した国際共同臨床研究及び治験の開始	1件	A
未診断又は希少疾患に対する新規原因遺伝子又は新規疾患の発見を5件以上達成	16件	A

健康・医療に関する新産業創出及び国際展開の促進等に関する施策

達成目標	最新数値	進捗
健康増進・予防、生活支援関連産業の市場規模を拡大(4兆円→10兆円)	6.3兆円(2017年度)	B
健康・医療分野における官民ファンドと民間からの協調出資がなされた件数の比率を100%	100%	A
海外に日本の医療拠点を創設(3カ所→20カ所程度)	24拠点	A
日本の医療技術・サービスが獲得する海外市場規模を5兆円【2030年まで】	2016年:医療機器の海外売上高(23社)1兆7624億円、 2016年:医薬品の海外売上高(26社)3兆2621億円	A

健康・医療に関する先端的研究開発及び新産業創出に関する教育の振興・人材の確保等に関する施策

達成目標	最新数値	進捗
国民の健康寿命を1歳以上延伸	男性: +1.72歳 女性: +1.17歳 (2016年) (2010年対比)	A
メタボ人口を2008年度比25%減	14.2% (2017年度)	B
健診受診率(40~74歳)を80%(特定健診を含む。)	71% (2016年)	A
レセプトデータに加え、これまで未活用されていない検査データ等を含む医療・介護・健康分野のデジタル基盤を構築し、臨床研究及び治験、コホート研究等で(現在は利用不可能な)医療等情報を利用	—	N

※ 特段の記載のないものは2020年までの目標
 ※ 「最新数値」は、特段の記載のない限り2019年3月31日時点の計数、
 ※ 進捗: A. 順調に進捗している B. 進捗が不十分 N. 現時点で評価が困難